

## ごあいさつ

皆さま方には、日頃より広島県信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

このたび、当組合の平成20年度上半期経営情報につきまして、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

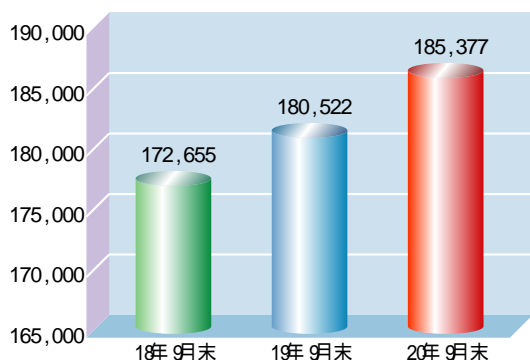
当組合は、法令等遵守やリスク管理態勢の強化を図るとともに、「中期経営計画」に基づき、お客さまのニーズにお応えする商品・金融サービスの迅速な提供と、財務の健全性強化に努めてまいりました。

今後とも、地域金融機関としてより充実した金融サービスに努め、地域の皆さまの期待に応えてまいりますので、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 預金・貸出金の状況

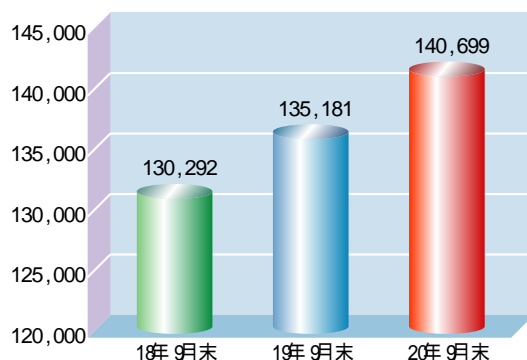
### 預金残高の推移

(単位：百万円)



### 貸出金残高の推移

(単位：百万円)



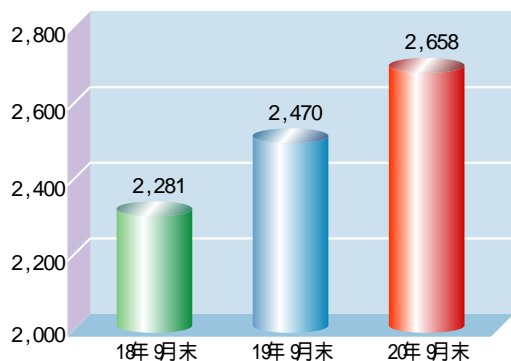
ケンシン創立55周年記念定期預金やサンフレッチェ定期預金の発売をはじめ、お客さまにご満足いただけるよう、預金商品の提供に努めてまいりました。平成20年9月末の預金残高は、前年(平成19年9月末)比48億55百万円増加し、1,853億7百万円となりました。

また、貸出金につきましては、中小零細事業者および個人の皆さまの幅広い資金ニーズにお応えするため、事業性のご融資や住宅ローンなどの個人向けの各種ローンを積極的に対応してまいりました。平成20年9月末の貸出金残高は、前年比55億1百万円増加し、1,406億99百万円となりました。

## 収益の状況

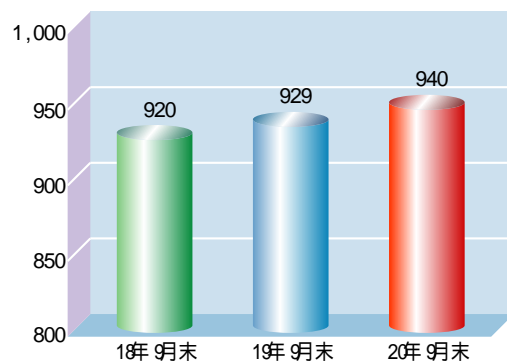
### 経常収益

(単位：百万円)



### コア業務純益

(単位：百万円)



「中期経営計画」に基づき、一層の収益性の強化に取り組んだ結果、平成20年度上半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の売上を表わす経常収益は、前年(平成19年4月1日～平成19年9月30日)比1億8百万円増加し、26億58百万円となりました。また、コア業務純益(注)は、前年比1百万円増加し、9億40百万円(「業務純益」は、5億14百万円)となりました。

なお、経常利益は、貸倒償却引当費用の増加等により、前年比5億30百万円減少し、38百万円となりました。また、当期純利益は、前年比5億7百万円減少し、25百万円となりました。

(注) コア業務純益とは、預金・貸出金・為替業務など金融機関本来の業務から生まれる業務純益から、一般貸倒引当金繰入額と国債等債券の償還・売却損益を控除したもので、より純粋な金融機関本来の業務による利益を表わしております。